

子育て環境の整備

末松 則子 議員
(自民みらい / 鈴鹿市選出)

問

子育て支援は、子ども手当などの現金給付と、子どもの医療費無料化など、仕組みや制度として住民にサービスを提供する現物給付とのバランスが大切です。



最も役割の大きい市町との連携も重要ですが、県の責務として、①安心ことも基金の活用も含め、教育・医療・子育て分野における福祉的なセーフティネットを構築する取り組みが必要だと考えます。

答

さまざまな分野が連携の提供が重要であり、病児・病後児保育や発達障がい児への支援などの取り組みを、現在策定中の第二次世代育成支援行動計画の重点事業として位置づけています。

今後市町と連携し、地域ニーズや特性に応じた子育て環境の整備に総合的な視野で取り組んでいきます。

その他の質問事項
○三重県の特別支援教育 ほか

北勢地域の周産期医療体制

藤田 宣二 議員
(新政みえ / 鈴鹿市選出)

問

②周産期医療のセンター的役割を果たす総合周産期母子医療センターは、県内では三重中央医療センターのみです。県内の出生数の過半数を占める北勢地域において、新生児集中治療室(NICU)が不足し、他地域の施設に頼っている状況です。

北勢地区の不十分な体制を満たすため、総合周産期母子医療センターの設置が必要ではないでしょうか。

答

北勢地域のNICUは、国の整備指針より10床不足しており、県医療審議会周産期医療部会では、NICUの増床や総合周産期母子医療センターの整備が必要との意見がありました。

実現には、施設・設備の整備、医療従事者の確保が必要であり、三重大学などと連携しながら取り組みたいと考えています。

その他の質問事項
○カシノナガキクイムシの被害の実状把握とその対策 ほか



関西広域連合(仮称)への参加

吉川 実 議員
(自民みらい / 伊賀市選出)

問

分権型社会の実現などを目的に設立が検討されている「関西広域連合(仮称)」への参加について、知事は、県民のメリットが見出せないことから、参加を見送ることとしています。



関西本線の電化促進、川上ダム建設などの木津川の治水対策や水質保全などは、広域的な取り組みが必要であり、分野別の部分参加・期間限定の試行加盟などを積極的に進めるべきです。

答

構成団体にはならないも「参加団体と不参加団体との協議の場」に参加し、広域連合で処理する事務の拡充などの議論に関わりをもっていきたいと考えます。

将来的に広域連合で処理する事務が、本県にとって必要性やメリットがある場合には、特定の分野への部分参加も含め、参加を検討したいと考えています。

その他の質問事項
○川上ダム ほか

率先実行大賞と「美し国おこし・三重」

笹井 健司 議員
(新政みえ / 松阪市選出)

問

県職員の③率先実行大賞の取り組みには、市町や企業・地域住民との連携・協働によるものが多くあり、これからの県政運営に大きく役立つと感じました。

県が地域の多様な主体との協働で進める事業と、地域住民が自発的に取り組む活動の緊密な連携で相乗効果を高めることが、素晴らしい地域づくり、「美し国」づくりにつながっていくと考えますがいかがでしょうか。

答

率先実行大賞に参加したチームの活動など、県を中心に地域の皆さんと協働で進める取り組みと、それぞれの地域の皆さんの活動とが連携できれば、一層効果を高めるものになると考えます。

そのため、県庁内の各部署と「美し国おこし・三重」担当部署が一体となった取り組みの連携につなげていきます。

その他の質問事項
○農業研究機関の整備計画 ほか



「津の美しい海づくり」の取り組み